

美し国 三重 桑名

六華苑

2014/5/17 (土)-18(日)

春の舞楽会

両日とも 10:00~、13:00~

入場 無料

ただし 入苑料 300円 必要

日本の心を音楽と舞で
伝える 雅楽



さほうひらまい しゅん でい か
左方平舞：春庭花

六華苑 (旧 諸戸清六 邸) / 鹿鳴館で有名なジョサイア・コンドル設計による4層塔の洋館と
材木商の諸戸家が贅を極めた和館に池泉回遊式庭園などがある近代文化遺産 (国重要文化財・名勝)

駐車場に限りがありますので、公共交通機関も御利用ください。当催事は、桑名市文化協会会員の公演です。多度大社の神事ではありません。

アクセス：三重県 桑名市 桑名 663 番の 5 (TEL0594-24-4466)

➡ <鉄道> 近鉄・JR桑名 (名古屋⇒20分) から徒歩 20分

➡ <自動車> 東名阪桑名東 又は 伊勢湾岸桑名ICから 15分

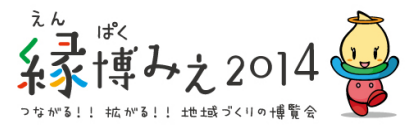


問合せ：田中 松緑
TEL0594-48-3484

主催：多度雅楽会 美し国 おこし 三重 パートナーグループ
<http://www.tadogagaku.com/>

共催：桑名市文化・スポーツ振興公社

うほうわらべまい こちよう
右方宣舞：胡蝶



連携協力「美し国おこし・三重」実行委員会

国名勝 六華苑 庭園

芸術文化振興基金助成申請事業
企業メセナ協議会助成認定事業

舞楽について

雅楽の舞は、古代歌謡を起源とする「国風歌舞」（くにぶりのうたまい）と、外来舞を起源とする「舞楽」（ぶがく）があります。いずれも、平安時代に国風文化の影響を受けて、外来楽舞を受容しつつ日本人の趣向に再構成され、日本の伝統文化として継承されてきました。

舞楽は、中国インドシナなど南方系伝来の「左方舞」（さほうのまい）と、朝鮮半島など北方系伝来の「右方舞」（うほうのまい）に大きく分類され、「舞人」（まいびと）は「管方」（かんかた）演奏にあわせて舞います。

<演奏>

演奏方法も、左方舞は「唐楽」（とうがく）と右方舞は高麗楽（こまがく）に原則として分類され、それぞれ楽器構成が異なり、舞も、唐楽は管楽器の旋律に、高麗楽は打楽器の拍子に合わせます。

- 唐 楽 … 管楽器（笙（しょう）、箏（ひちりき）、龍笛（りゅうてき））と打楽器（鞆鼓（かっこ）、太鼓、鉦鼓）
- 高麗楽 … 管楽器（箏（ひちりき）、高麗笛（こまぶえ））と打楽器（三鼓（さんのつづみ）、太鼓、鉦鼓）

<種類>

舞の種類は、左方舞・右方舞ともに、平舞（ひらまい）、童舞（わらべまい）、武舞（ぶのまい）、走舞（はしりまい）などに分類されます。

- 平 舞 … 「萬歳楽（まんざいらく）」「延喜楽（えんぎらく）」など、文人姿の舞人がゆったりかつ優美に舞います。
- 童 舞 … 「迦陵頻（かりょうびん）」「胡蝶（こちょう）」など、青年前の男子や女子の舞人がかわいげに舞います。
- 武 舞 … 「太平楽（たいへいらく）」「陪臚（ばいろ）」など、武人姿の舞人が鉾（ほこ）を持って勇壮に舞います。
- 走 舞 … 「陵王（りょうおう）」「納曾利（なそり）」など、面を付けた舞人が桴（ばち）を持って闊達に舞います。

<装束>

舞楽装束は、四季に恵まれた我が国ならではの自然の色彩と感性で、花や動物などを、上着の袍（ほう）や下襲（したかさね）などに刺繍で意匠した芸術作品です。唐楽は赤紫色に金細工、高麗楽は青黄色に銀細工を装飾の基調としています。

平舞では、赤と緑の豪華絢爛な唐様「襲装束」（かさねしょうぞく）と、紫と青の王朝様式の「蛮絵装束」（ばんえしょうぞく）を用います。そのほか、「別様装束」（べつようしょうぞく）は、舞楽ごとに面や装束が異なります。走舞では、遊牧民族の毛皮を現した毛ペリの桶襦装束（りょうとうしょうぞく）を用います。

<舞台>

舞台は、宇宙を表す「天は円に地は方」と、太陽と月を表す左右の大太鼓で形成され、舞座は、三間四方の平台に緑色牡丹文様の地敷（じふ）を敷いて、周囲を四間四方の擬宝珠（ぎぼうしゅ）柱と高欄（こうらん）で囲みます。舞人は、左方舞は舞台の左から、右方舞は舞台の右から、それぞれ登台して舞い、退出します。管方は、楽所幕（がくそまく）を背景に、太鼓（左方に日輪を表す金に昇龍、右方に月輪を表す銀に鳳凰）などの装飾された打楽器と公達（きんだち）姿の楽人を配置します。

多度雅楽会

上げ馬神事で有名な多度大社の歴史は古く、その雅楽は奈良時代に記録があり、江戸時代に雅楽を愛好した松平定信の後裔が桑名藩にて継承しました。多度雅楽会は、その由来ある三重県桑名市と東京都江東区を拠点として、雅楽を普及継承する団体です。「文化芸術による創造のまち」文化庁支援事業（平成 19-20 年度）に指定されるなど、子供たちに雅楽の音楽や舞を伝える活動を続けています。桑名市文化協会の活動ほか、春秋の六華苑舞楽会、東京の新春公演、富岡八幡宮奉納など、定期公演は地域の人々との交流を大切にしており、近年、伊勢神宮のある三重県を PR する活動にも参加しています。詳しくは、サイト（<http://www.tadogagaku.com/>）をご覧ください。

寄付について

当舞楽会は、国民が芸術に対して寄付する活動を文化庁が推進するため、企業メセナ協議会経由で、企業5万円以上 又は 個人1万円以上の寄付をいただきますと、税制上優遇される特典があります。寄付いただける方には、手続きを御案内しますので、皆様、何卒、御支援ください。

<連絡先> 0594-48-3484 多度雅楽会 あて